富山県第3期SDGs未来都市計画（2025～2027）（概要）

第3期計画の主な追記事項

・第2期計画までの取組みの成果と今後の課題について整理し、項目を追加

・計画策定時からの時勢の変化を踏まえ、より効果的に取組みを進めるため、一部のKPIを変更

本県が目指す「SDGs未来都市」の姿

本県発展の原点である「水」に焦点をあて、
2030年においても **美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県** を目指す

1 将来ビジョン

地域の特性

・立山連峰や美しい富山湾など、豊かで美しい自然環境
・「名水百選」、「とやまの名水」など全国に誇れる清らかな水環境
・日本海側の中心に位置、環日本海・アジア地域の拠点

2030年のあるべき姿

環日本海地域をリードする「環境エネルギー先端県とやま」
①世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
②「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県

2030年のあるべき姿の 実現に向けた優先的な ゴール・ターゲット

【経済面】美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かした経済発展
【社会面】カーボンニュートラルの実現に向けた「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立
【環境面】地域固有の自然環境・水環境の保全

2 自治体SDGsに資する取組

自治体SDGsに資する取組

【経済面】
①「立山黒部」の高付加価値化　②国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用　③水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上
④カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進

【社会面】
⑤脱炭素社会・循環型社会づくりの推進
⑥「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

【環境面】
⑦立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全
⑧環日本海地域の環境保全への国際貢献
⑨清らかな水資源の保全と活用　⑩水と緑の森づくり

3 推進体制

各種計画への反映、行政体内部の執行体制

〇総合計画等においてSDGsの理念に沿った取組みを推進。各種計画の策定時及び改訂時にSDGsの理念を反映し、SDGsに関連する各種事業を展開。
〇県の各事業とSDGsの17のゴールとの関連付け、各種事業の推進に取組む。

ステークホルダーとの連携

〇経済界、有識者、NPO等が参画する富山県SDGs推進連絡協議会を開催し、県内のSDGsの推進に取組む。
〇富山市、南砺市、氷見市、滑川市などSDGs未来都市をはじめ、県内市町村と一体となってSDGs推進に取組む。

自律的好循環の形成

〇県内企業・団体等が自社の事業とSDGsの関連性を認識し、SDGs に関する取組みを宣言する、富山県SDGs宣言を実施。県内企業等の成長・発展戦略に繋げる。
〇民間企業との包括連携協定によるSDGs事業を実施。官民相互のノウハウ等を活かし、県民サービスの向上と地域活性化に努める。